

2015年9月期 決算説明会

2015年11月17日

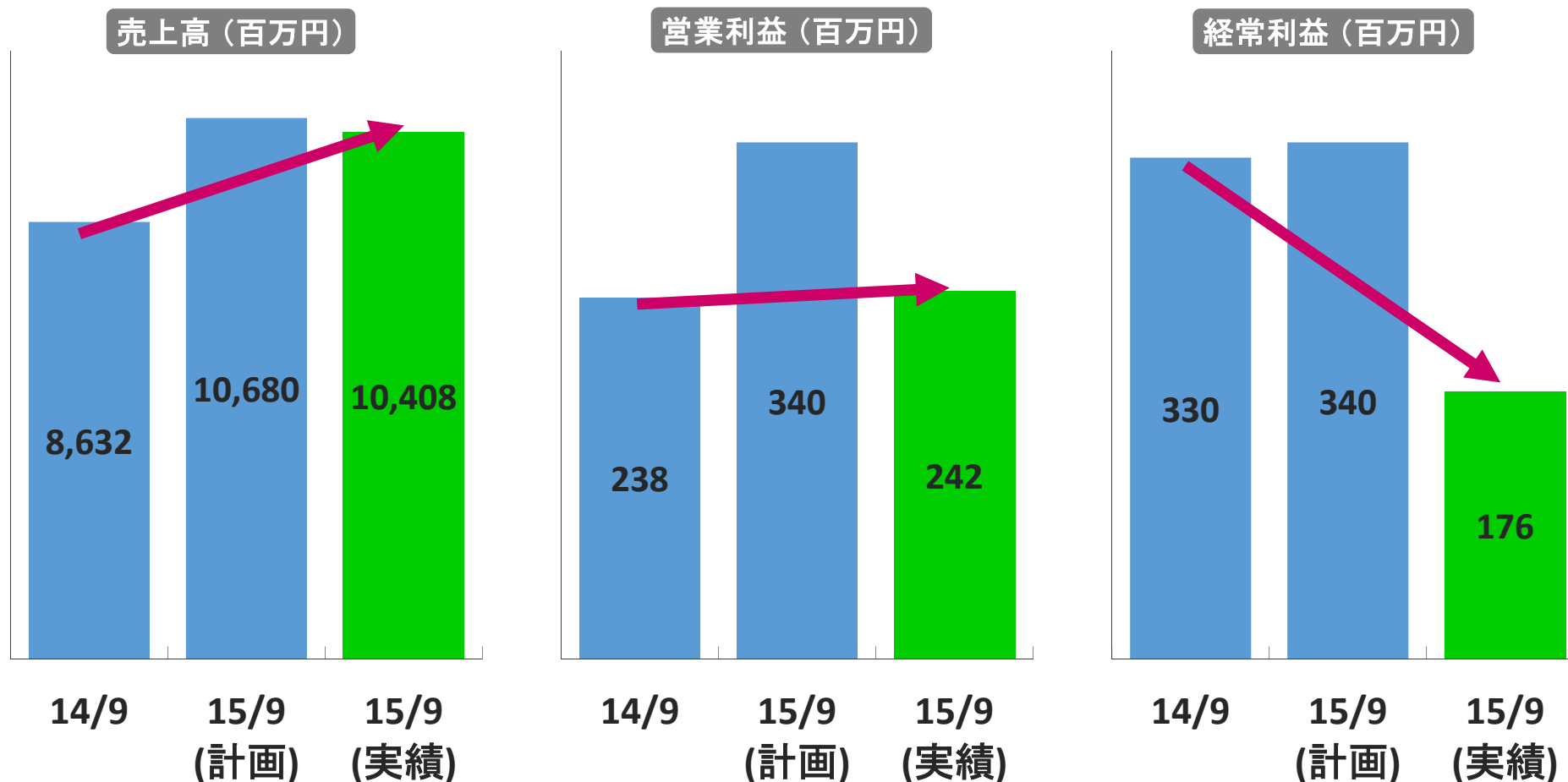


2015年9月期の決算概要

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2015年9月期 連結業績ハイライト

増収減益、計画未達



2015年9月期 連結業績の詳細

本業では増収増益も、債権の為替評価損等により減益

(百万円)

	14/9	15/9		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	計画	実績			
売上高	8,632	10,680	10,408	△271	1,775	20.6
粗利益	2,331	2,840	2,547	△292	216	9.3
粗利益率(%)	27.0	26.6	24.5	△2.1	△2.5	—
販売費及び一般管理費	2,092	2,500	(※1) 2,305	△194	212	10.2
販管费率(%)	24.2	23.4	22.2	△1.3	△2.1	—
営業利益	238	340	242	△97	3	1.6
営業利益率(%)	2.8	3.2	2.3	△0.9	△0.4	—
経常利益	330	340	(※2) 176	△163	△153	△46.5
経常利益率(%)	3.8	3.2	1.7	△1.5	△2.1	—
親会社株主に帰属する当期純利益	314	140	(※3) △15	△124	△329	△104.8
親会社株主に帰属する当期純利益(%)	3.6	1.3	△0.1	△2.0	△3.8	—
人員	452	—	513	—	61	—

※1：のれん償却 221百万円計上(14/9は129百万円)

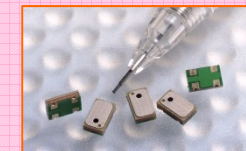
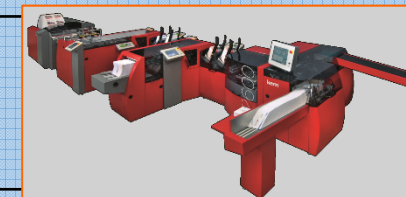
※2：外貨建債券の評価等による為替差損 91百万円計上

※3：投資有価証券評価損 69百万円計上

資料：セグメント・プロダクト

セグメント	プロダクト (商品類)	商品例
システム	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・EAS(商品監視システム) ・映像監視システム ・ストアマネジメントシステム ・ディスプレイセキュリティシステム ・オフィス入退室管理システム ・防火システム
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・メーリングシステム ・RFIDシステム ・ネットワークシステム
	カスタマ・サービス	システムセグメント内の商品の構築・保守・運用管理
デバイス	電子	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ半導体 ・通信用電子部品 ・各種センサー
	産機	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドレール ・ガススプリング ・ソフトクローズユニット ・電子錠

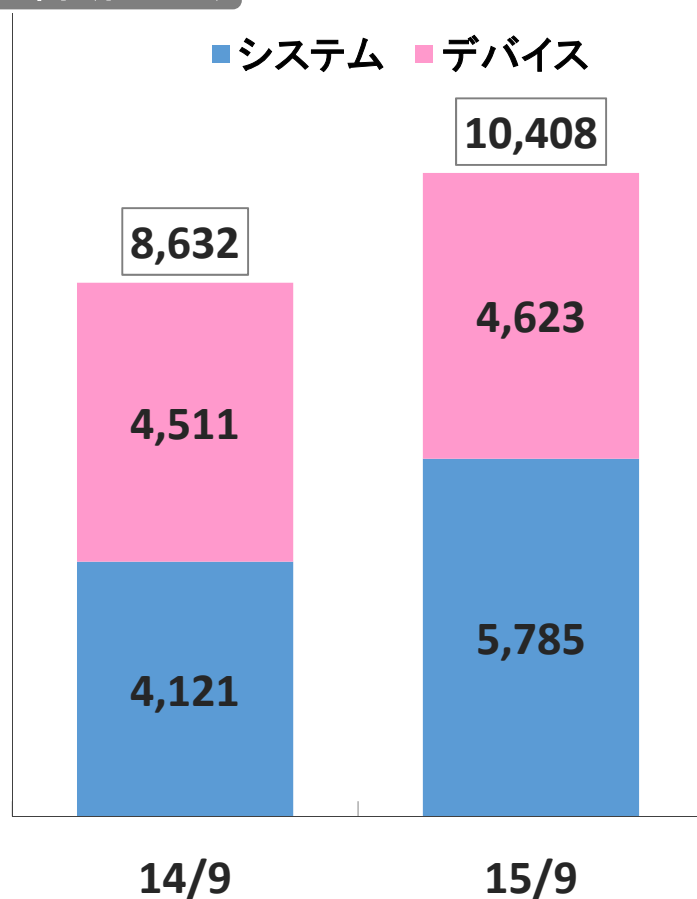
※今期(16/3月期)より、カスタマ・サービスセグメントをシステムセグメントに組み入れ



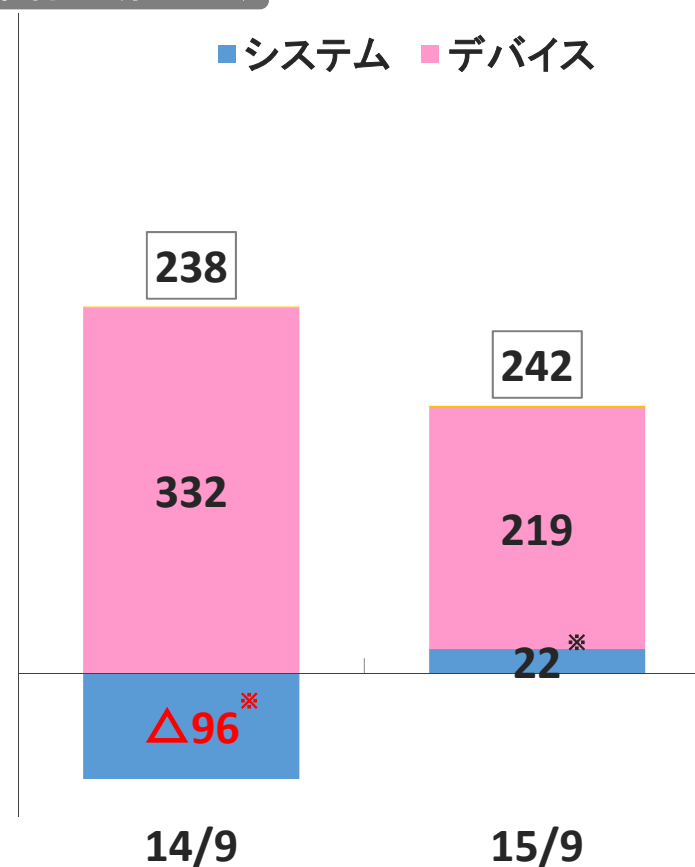
セグメント別業績のハイライト

両セグメントとも増収、システム増益・デバイス減益

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

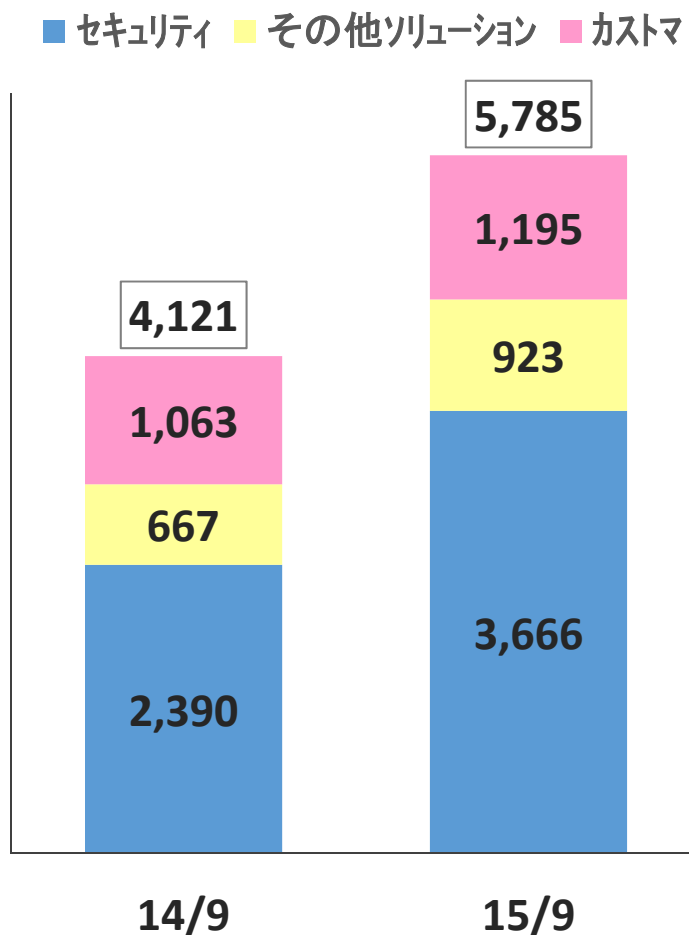


※システムには投資コスト(のれん償却)含む
14/9 129百万円 15/9 221百万円

システムセグメントの業績

全プロダクトにて増収増益

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ 小売リテール市場は設備投資が回復し増収
- ◆ Guardfire社は計画通り
- ◆ その他ソリューションプロダクトでは、メーリングシステムの大口案件計上により増収
- ◆ カストマも機器販売に連動して増収
- ◆ のれん償却費用を吸収して増益

営業利益（百万円）

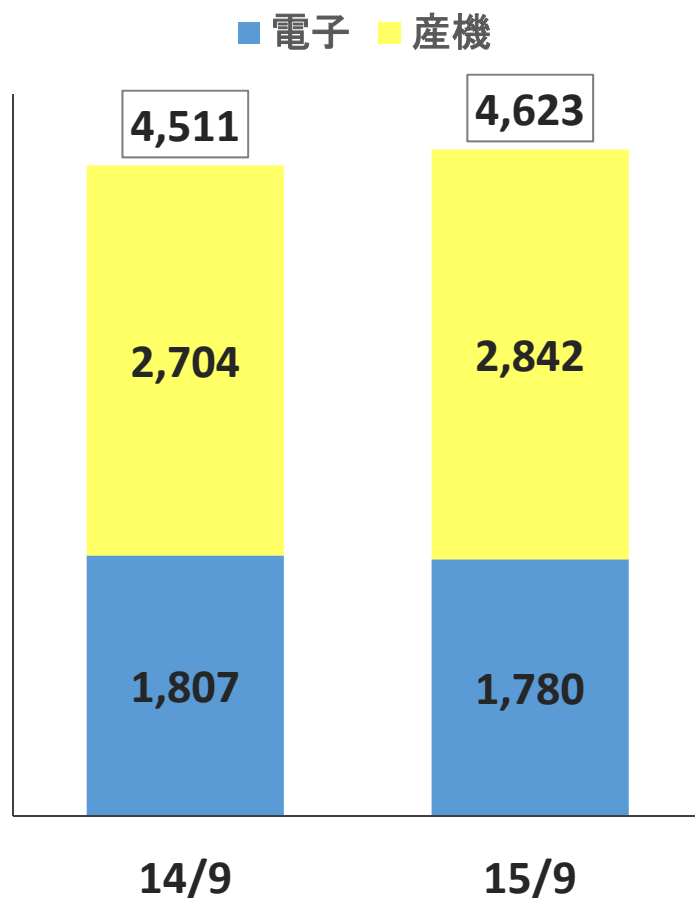
	14/9	15/9	前期比
システム	△96	22	118

※今期(16/3月期)よりカスタマ・サービスセグメントをシステムセグメントに組み入れ。これに伴い過去期も組み替え。

デバイスセグメントの業績

産機は引き続き増収となるも電子は減収

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ 産機プロダクトでは、引き続きATM向け機構部品の販売が好調で増収
- ◆ 電子プロダクトでは、アナログ商品の販売が伸びず減収
- ◆ 円安の影響による仕入コスト上昇等により減益

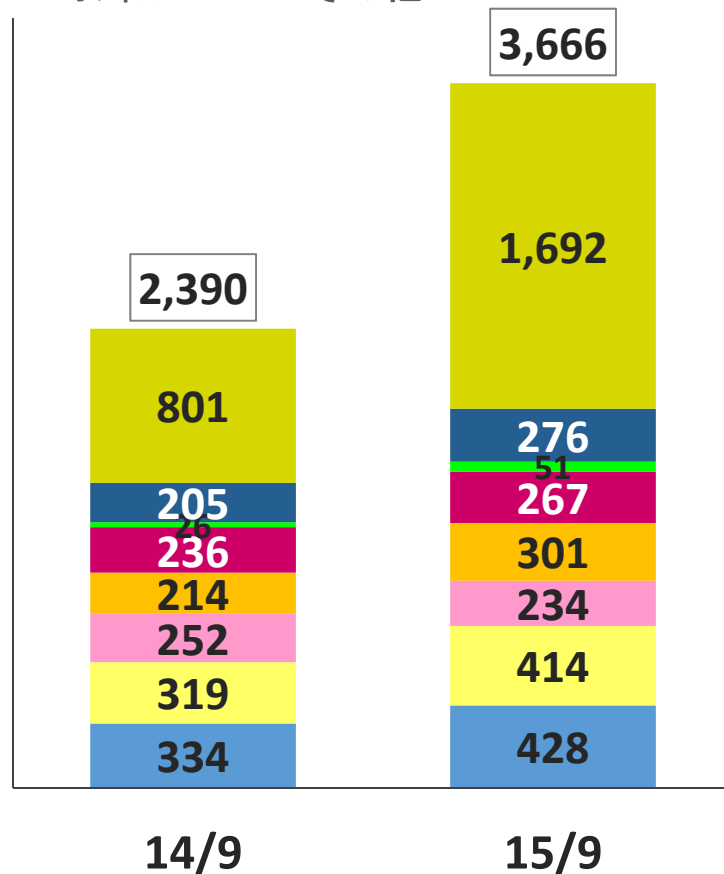
営業利益 (百万円)

	14/9	15/9	前期比
デバイス	332	219	△113

セキュリティプロダクトの業績

ほぼ全市場で増収

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ GMS向けIPカメラの販売が堅調
- ◆ 小売リテール市場では設備投資の回復に加えて複合提案が奏功し、ほぼ全市場で増収
- ◆ オフィスは工場向けの入退室管理システムが好調
- ◆ Guardfire社は原油安の影響を受けながらも計画通りに推移(左グラフその他欄)



EAS(商品監視システム)

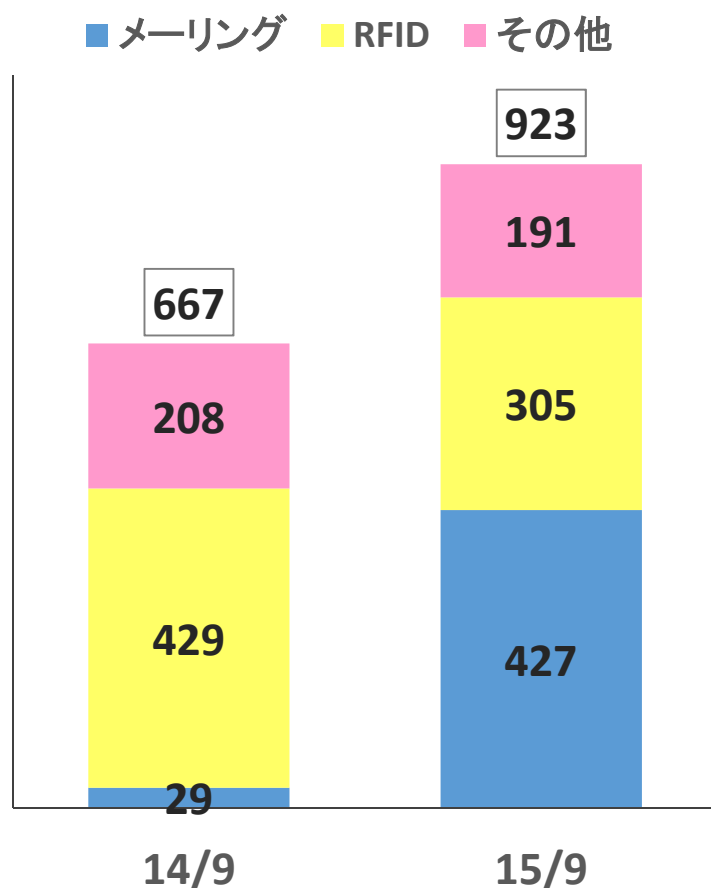


IPカメラ

その他ソリューションプロダクトの業績

メーリングが牽引し増収

売上高（百万円）



定性情報

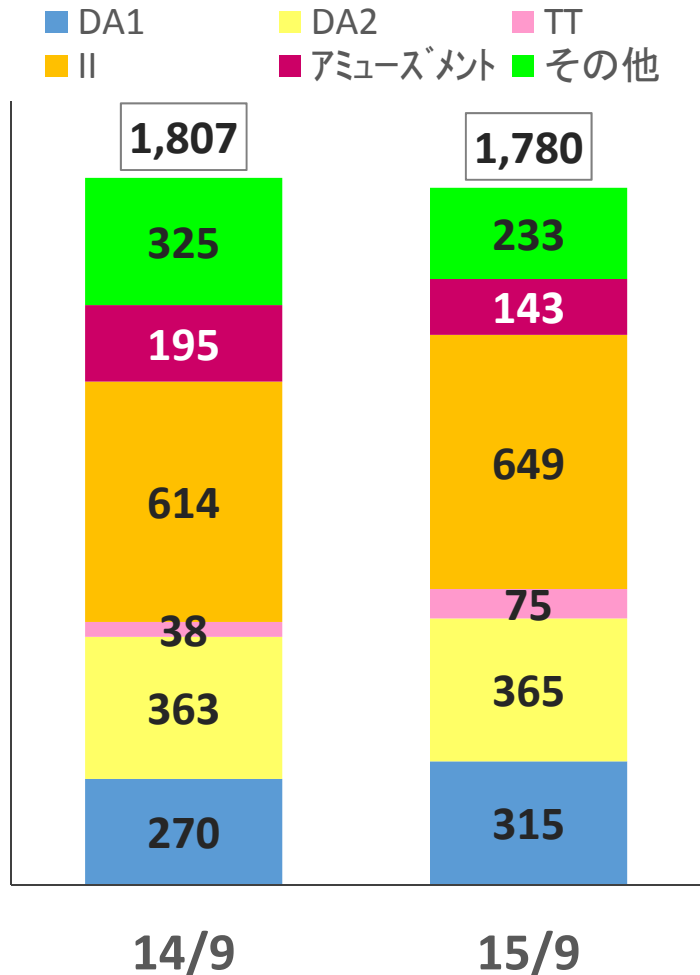
- ◆ メーリングでは、マイナンバー関係書類の発送向け大口案件を計上し増収。
- ◆ RFIDは、周波数帯移行需要の減少、タグ新製品の開発遅れ、アパレルにおける在庫管理システムの本格採用の検討長期化等より減収。



電子プロダクトの業績

アナログ商品の販売が苦戦継続し減収

売上高（百万円）

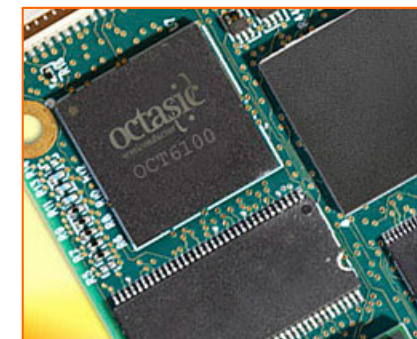


定性情報

- ◆ プロダクト全体では販売単価の低下により減収
- ◆ 重点市場として取り組んでいる産業機器市場(II)は、通信機器や交換機向けビジネスが拡大
- ◆ モバイル系情報家電(DA1)では、海外スマートフォン向けロジックICが伸張し増収



ロジックIC



DSP
(デジタル・シグナル・プロセッサ)

資料：電子プロダクトの市場区分

DA1 「デジタルアプライアンス1」

モバイル系情報家電 … 携帯電話、スマートフォン、デジタル・カメラ等

DA2 「デジタルアプライアンス2」

設置型情報家電 … 液晶テレビ、パソコン、プリンター等

TT 「テレマティクス」

車載用機器 … カーナビゲーション、車載カメラ等

II 「インダストリーインフラ」

産業機器 … 測定器、医療機器、放送設備、通信基地局、交換機等

アミューズメント

… ゲーム機、遊技機等

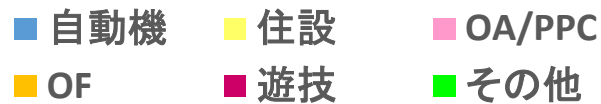
その他

… パワー(電源関係)、代理店販売等

産機製品の業績

遊技以外の全市場で増収

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ 自動機市場は日本メーカーの海外向けATM(現金自動預け払い機)への販売が引き続き堅調に推移
- ◆ また海外メーカーのATM向けの採用も進む
- ◆ その他市場では自動車内装向けが大幅増収
- ◆ 遊技は競争激化により、大幅減収



スライドレール



ダンパー

資料：産機プロダクトの市場区分

自動機

… ATM(現金自動預け払い機)、券売機、釣銭機、自動販売機等

住設 「住宅設備」

…システムキッチン、福祉機器、引き戸、昇降棚等

OA・PPC

…複合機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF 「オフィスファニチャー(家具)」

…オフィス用キャビネット、机、椅子等

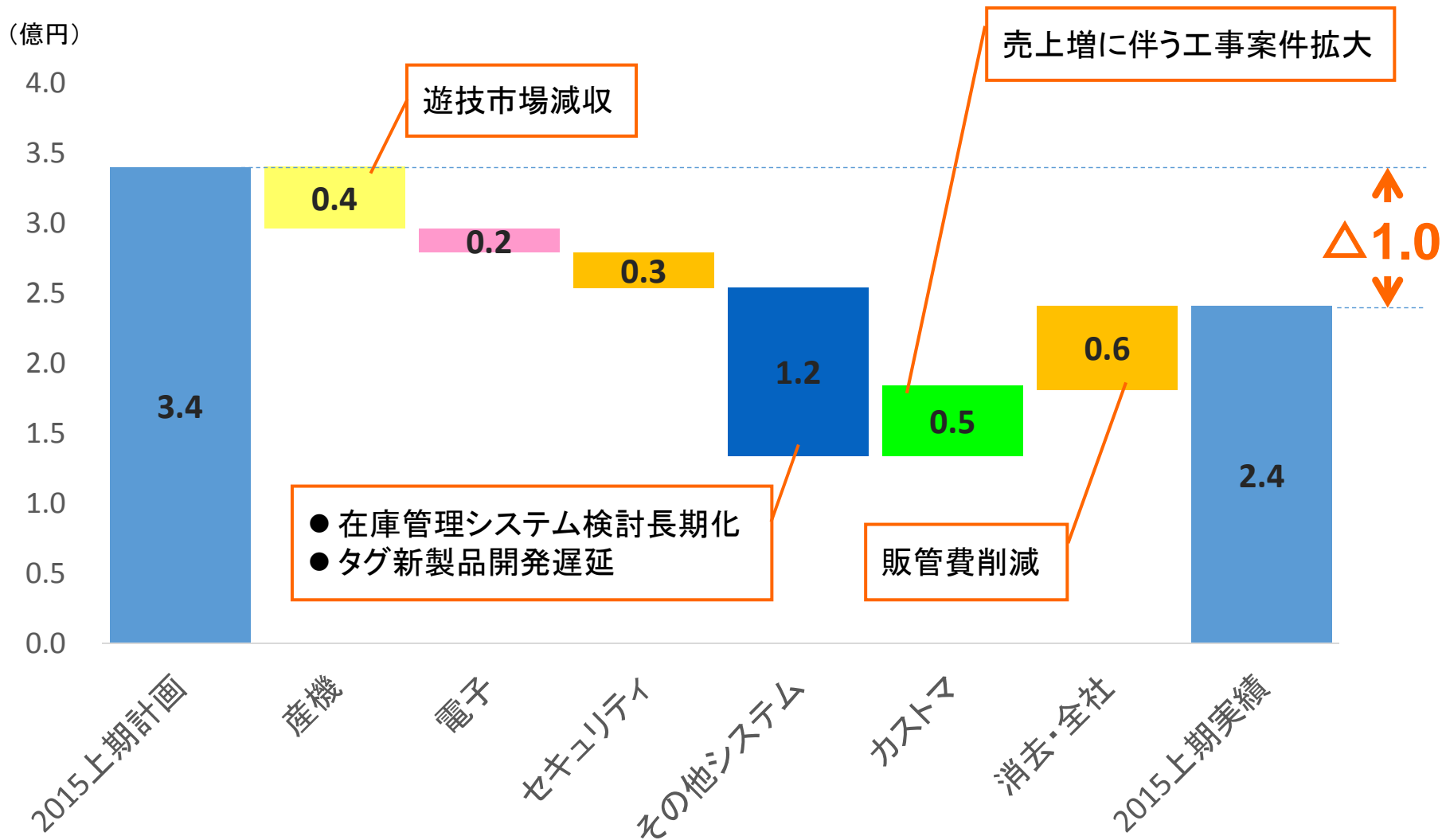
遊技

…パチンコ台間機、ゲーム機、アミューズメント設備等

その他

…上記以外で自動車内装、半導体製造装置、サーバーラック、鉄道関連等

プロダクト別業績(営業利益)



貸借対照表の状況

のれん償却や自己株式買付等により資産減少

(百万円)	15/3	15/9	構成比(%)	増減
流動資産	15,609	15,042	80.6	△567
現金預金	5,637	5,270	28.2	△366
受取手形及び売掛金	6,608	6,159	33.0	△449
商品及び製品	2,202	2,532	13.6	330
固定資産	4,229	3,622	19.4	△607
有形固定資産	360	353	1.9	△6
無形固定資産	2,350	1,866	10.0	△484
投資その他資産	1,519	1,402	7.5	△116
資産合計	19,839	18,664	100.0	△1,175
流動負債	4,245	3,933	21.1	△312
支払手形及び買掛金	3,128	2,865	15.4	△263
固定負債	646	651	3.5	4
純資産	14,947	14,080	75.4	△867
負債純資産合計	19,839	18,664	100.0	△1,175

連結キャッシュ・フロー計算書の状況

自己株買いにより財務活動によるキャッシュフローが減少

(百万円)

	14/9	15/9	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	747	26	△721
投資活動によるキャッシュフロー	139	△51	△191
財務活動によるキャッシュフロー	△111	△478	△367
現金及び現金同等物の増減額	782	△592	△1,374
現金及び現金同等物の期首残高	6,462	4,887	△1,574
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,244	4,520	△2,723

※GFの決算期変更に伴う現金等の増加225百万円

株主還元策について

安定的な配当を継続的に実施

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向:連結
2010年3月期	24円00銭	12円00銭	163.0%
2011年3月期	24円00銭	12円00銭	57.9%
2012年3月期	29円00銭	12円00銭	84.1%
2013年3月期	24円00銭	12円00銭	42.2%
2014年3月期	24円00銭	12円00銭	41.5%
2015年3月期	24円00銭	12円00銭	39.9%
2016年3月期(予想)	24円00銭	12円00銭	(見込み) 36.6%

※2012年3月期の年間配当金には創立60周年記念配当5円を含みます。

通期の見通し

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2016年3月期 通期業績計画

年初発表した計画を維持

(百万円)	15/3 実績	16/3 計画	前期差	前期比(%)
売上高	18,809	23,000	4,190	22.3
粗利益	4,935	6,090	1,154	23.4
粗利益率(%)	26.2	26.5	0.2	—
販売費及び一般管理費	4,247	4,930	682	16.1
販管费率(%)	22.6	21.4	△1.1	—
営業利益	688	1,160	471	68.6
営業利益率(%)	3.7	5.0	1.4	—
経常利益	865	1,160	294	34.0
経常利益率(%)	4.6	5.0	0.4	—
親会社株主に帰属する当期純利益	589	630	40	6.8
親会社株主に帰属する当期純利益率(%)	3.1	2.7	△0.4	—

中期事業方針

基本方針

独自の付加価値創出とグローバルビジネスの拡大

- ① 既存事業の収益拡大
- ② グローバルビジネスの拡大
- ③ 新規ビジネスの創出

今後の成長戦略

国内既存事業の収益基盤を固め、海外・新規で成長を実現

シナジーを高め相互成長を促進

既存事業の収益拡大

- 複合リテールセキュリティシステムの開発・販売
- クラウド型無線LANの拡販
- 機構部品の自動車内装市場強化

グローバルビジネスの拡大

- セキュリティ事業本格拡大
- 高度防火システム拡大
- 産機事業の海外販売強化

新規ビジネスの創出

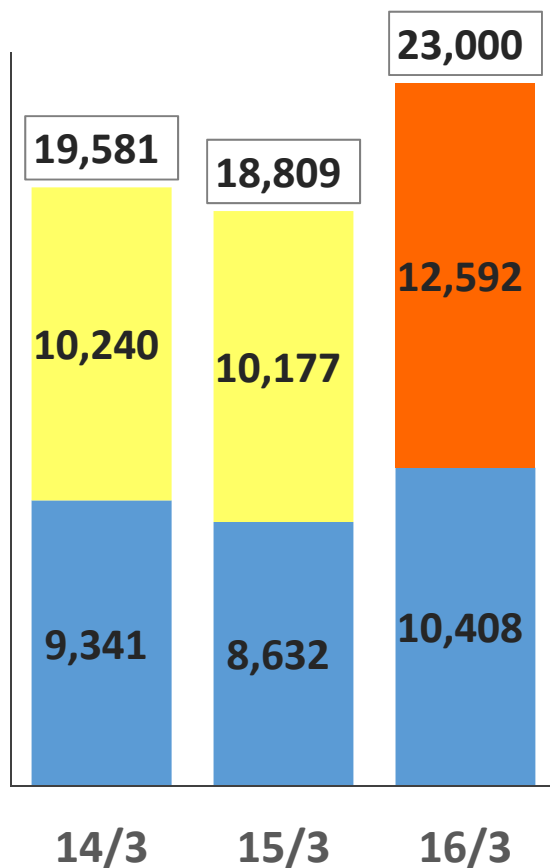
- RFID、リテールソリューション等の市場形成・拡大
- 社会インフラ市場開拓
- その他

下期の業績計画

粗利率の改善と経費削減により利益達成

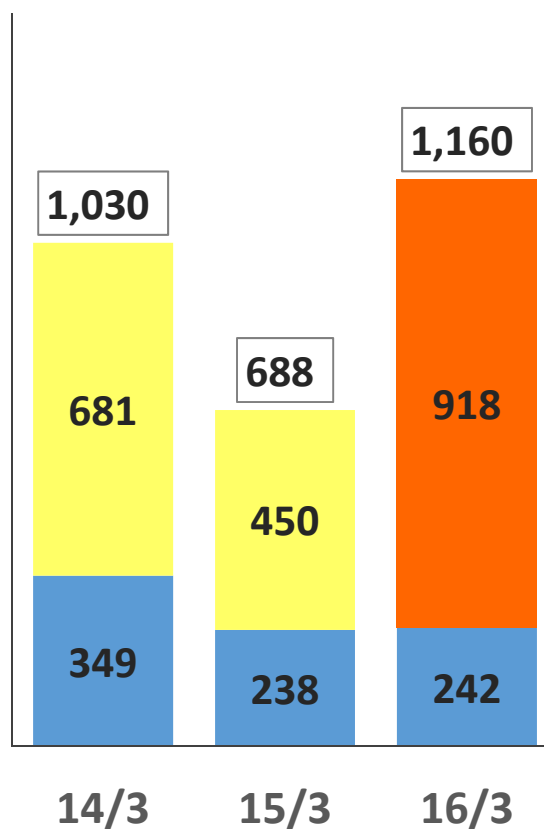
売上高 (百万円)

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



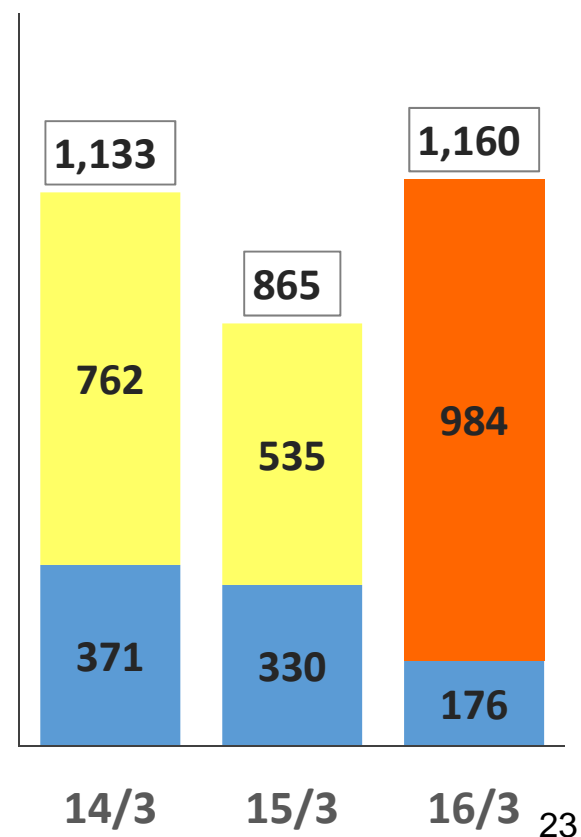
営業利益 (百万円)

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



経常利益 (百万円)

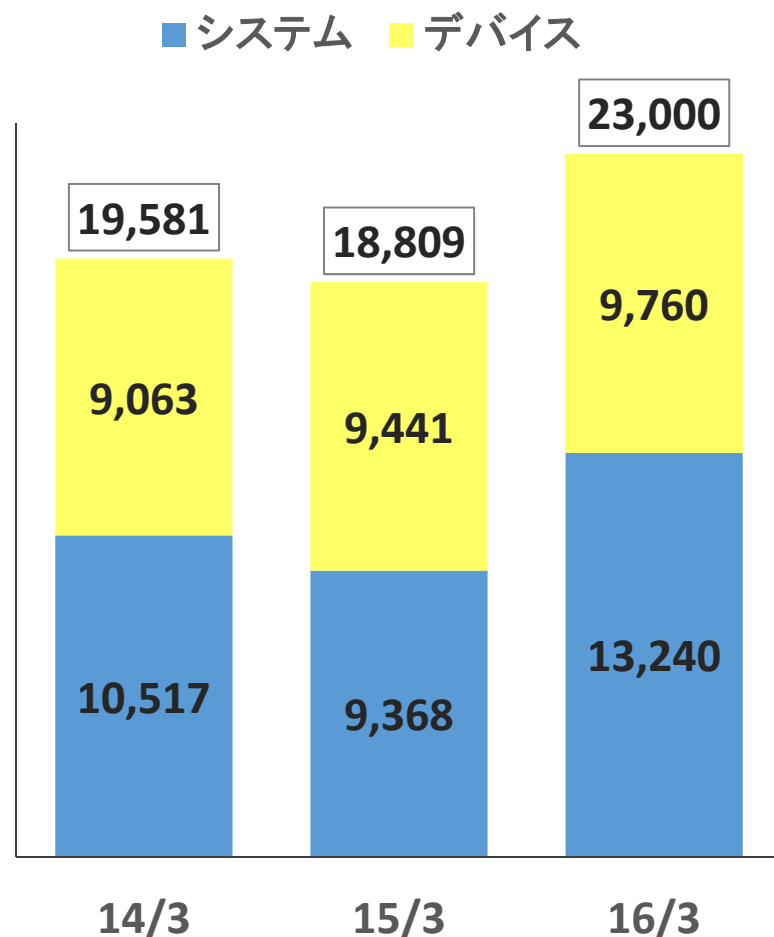
■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



2016年3月期 セグメント別販売計画

全セグメントで増収を計画

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ システム: セキュリティ国内市場の拡大に加え、Guardfire社のグループ参入等による海外事業の強化、RFID等の新規市場での拡販を図る
- ◆ デバイス: 電子は産業機器市場での拡販継続、産機は国内新規市場の開拓に加え海外での拡大を図る

(百万円)

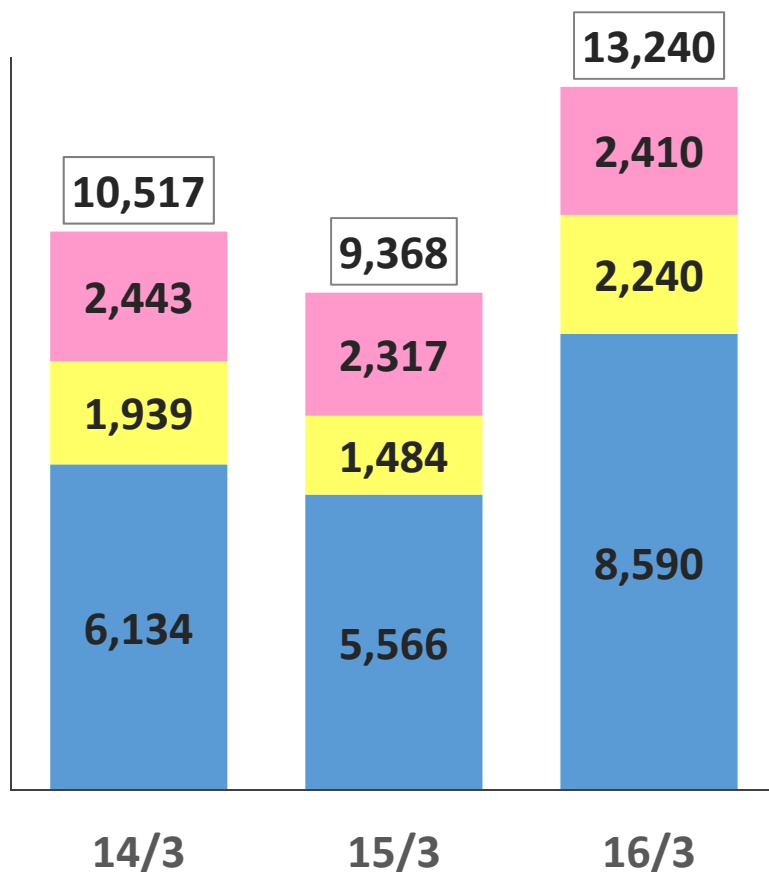
	15/3	16/3	前期比
売上高	18,809	23,000	4,190
営業利益	688	1,160	471
経常利益	865	1,160	294
親会社株主に帰属する 当期純利益	589	630	40

セグメント別販売計画の詳細

全プロダクトで増収、特にセキュリティはGuardfire社参入より大幅増

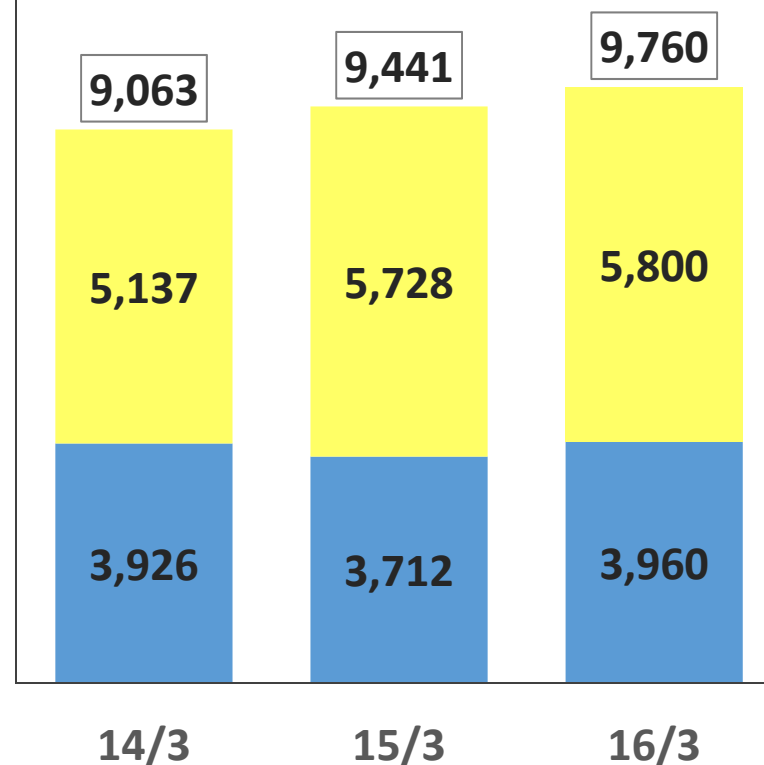
システム

■ セキュリティ ■ その他ソリューション ■ カストマ



デバイス

■ 電子 ■ 産機

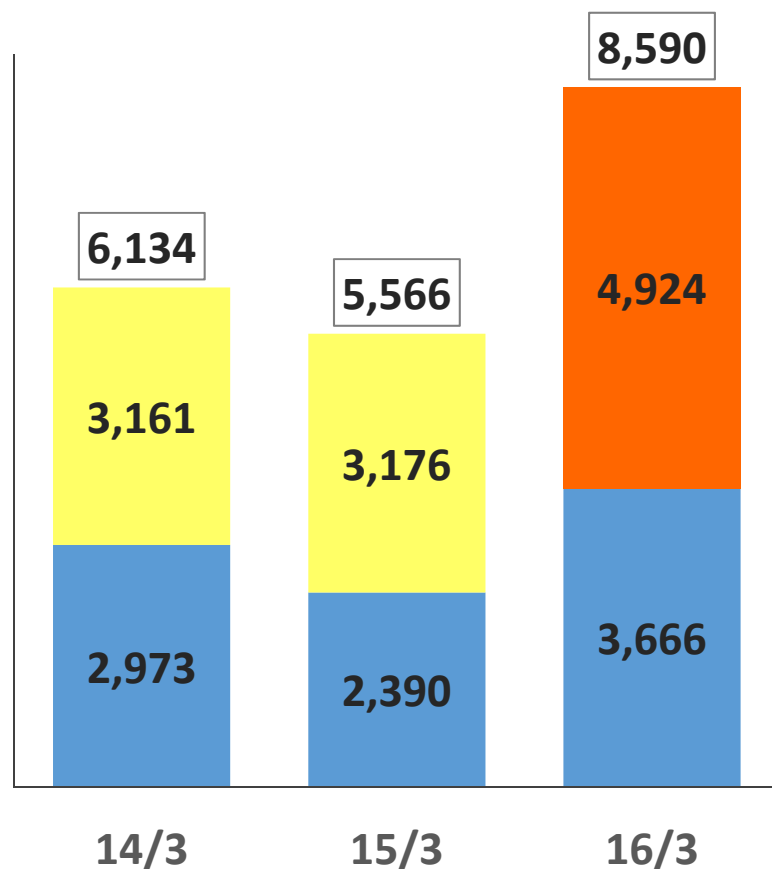


セキュリティ製品の販売計画

リテール重点市場への拡販、及びグローバル化推進

売上高 (百万円)

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



主な施策

- ◆ 重点市場(ドラッグ、GMS、アパレル)への複合提案(EAS、IPカメラ、FSシステム等)強化
- ◆ オフィスは2020年に向けて需要の高まる高度セキュリティシステムへ対応
- ◆ その他市場のTKTH※は、グループ内の連携強化によりタイを中心とする東南アジア日系企業向けのセキュリティ事業を開拓加速
- ◆ その他市場のGuardfireは東南アジア全域の日系・韓国系に加え欧州系のEPC※を重点的に攻略し、高度防火システムを販売

※TKTH: Takachiho Fire, Security & Services(Thailand)Ltd.

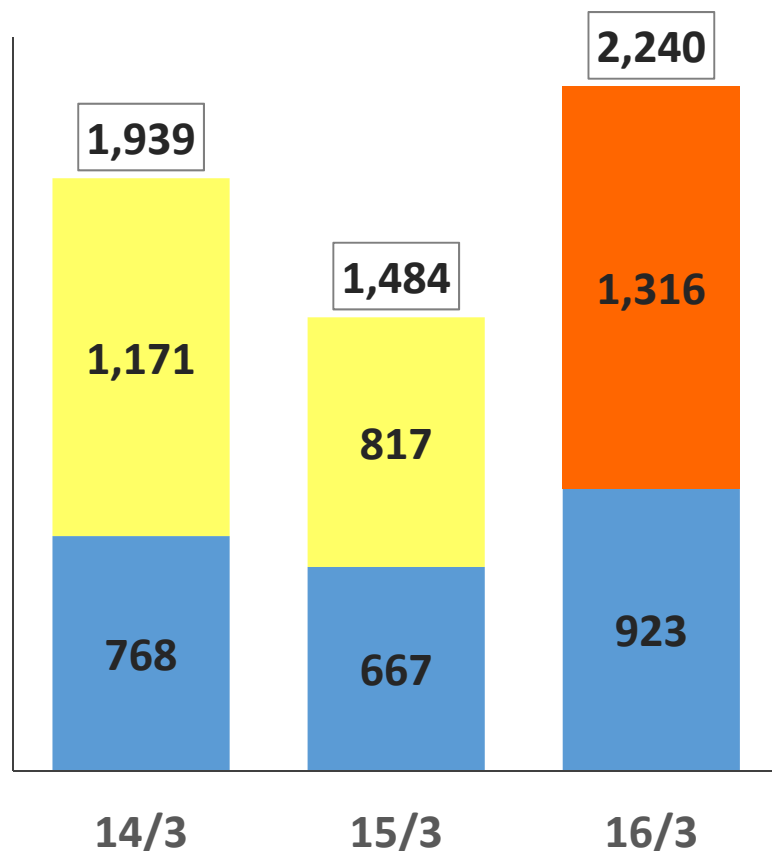
※EPC : Engineering, procurement and construction
(設計、調達、建設)を行う企業

その他ソリューション製品の販売計画

RFIDの市場形成継続と既存事業の拡大

売上高（百万円）

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



主な施策

- ◆ アパレル小売店向けRFID在庫管理システムの販売強化
- ◆ 付加価値の高い特殊RFIDタグ（リネン）の開発や新型ゲートの早期リリース
- ◆ リセーラーを活用し、無線LANシステム（Meraki）一括管理サービス事業（MSP）の販売強化
- ◆ メーリングプロダクトでは大型封入封緘機のリプレース販売強化

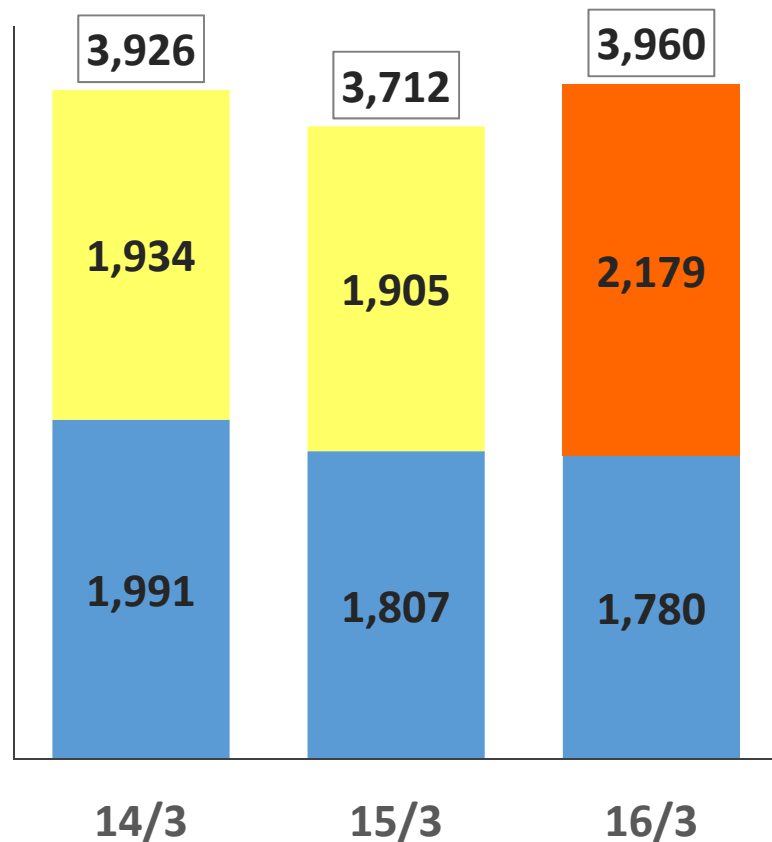
電子プロダクトの販売計画

産業機器市場への販売強化継続

売上高（百万円）

主な施策

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込

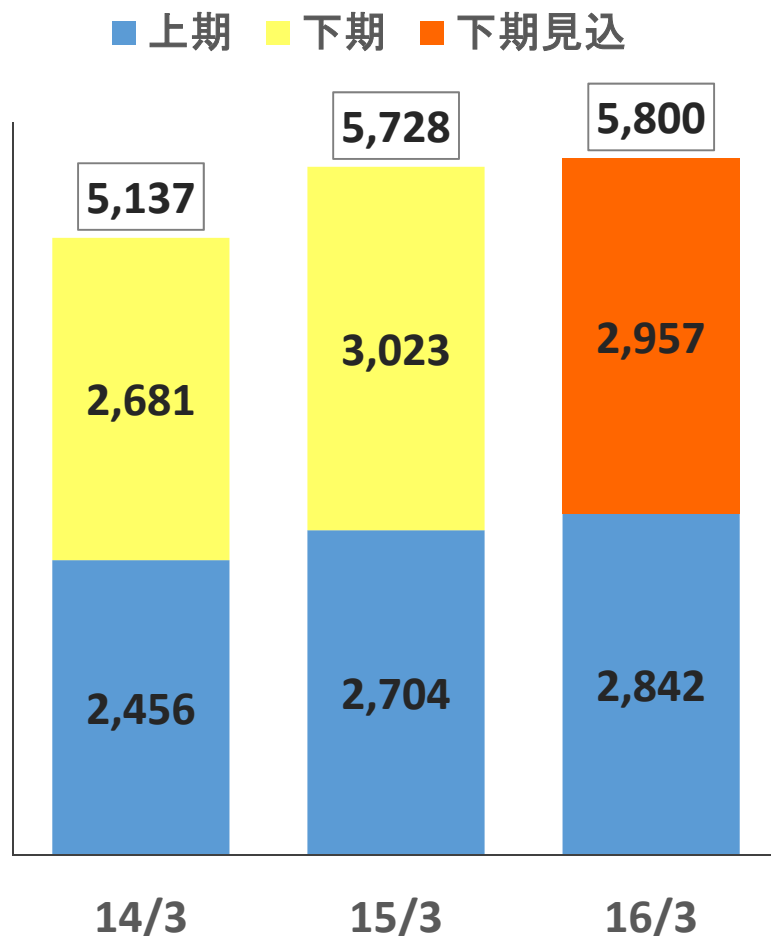


- ◆ 産業機器市場(II)の中でも基地局や交換機等の通信インフラ分野を強化
- ◆ 産業機器市場(II)では「創エネ・省エネ・蓄エネ」を実現するインバータや産業用ロボット向け装置も拡販
- ◆ DA1ではスピーカー周りのアプリケーションデモ機を作成・提案して案件獲得
- ◆ アミューズメントでは新規取扱メーカーのデバイスを採用したりファレンス回路を作成・提案し拡販

産機製品の販売計画

遊技以外、各市場ともに伸長を目指す

売上高（百万円）

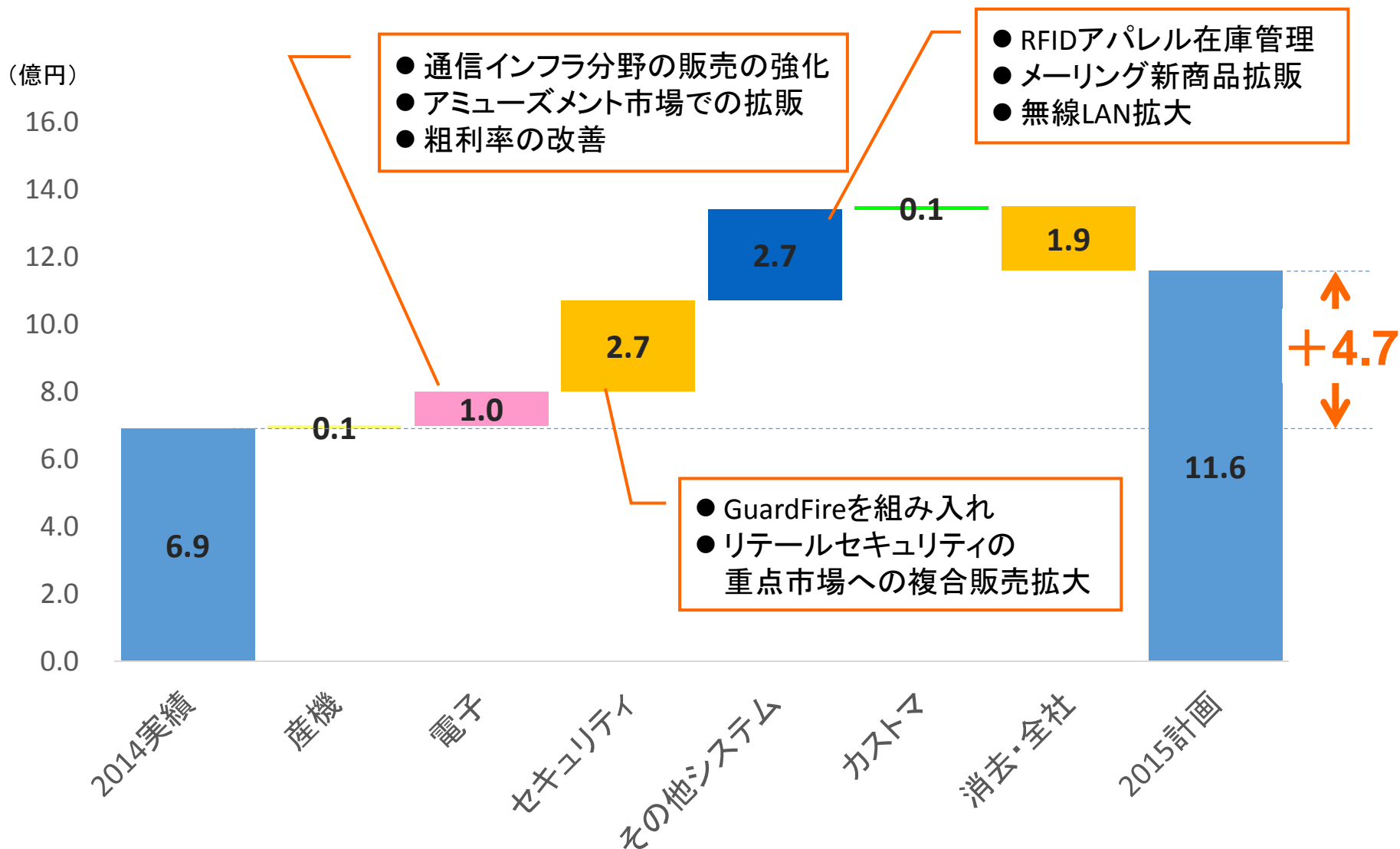


主な施策

- ◆ 自動機(ATM)の国内メーカーの深耕と海外メーカーの攻略継続
- ◆ 従来の中国・香港エリアでの拡販継続に加え、TKAM※と連携し北米でのビジネスを強力に推進
- ◆ 遊技は価格競争激化により前年を下回る計画
- ◆ 新市場開拓強化
(自動車内アームレスト等の車両内装等)
- ◆ 新商品開拓強化
(海外ガススプリング、ソフトクローズ等)

※TKAM: Takachiho America, Inc.

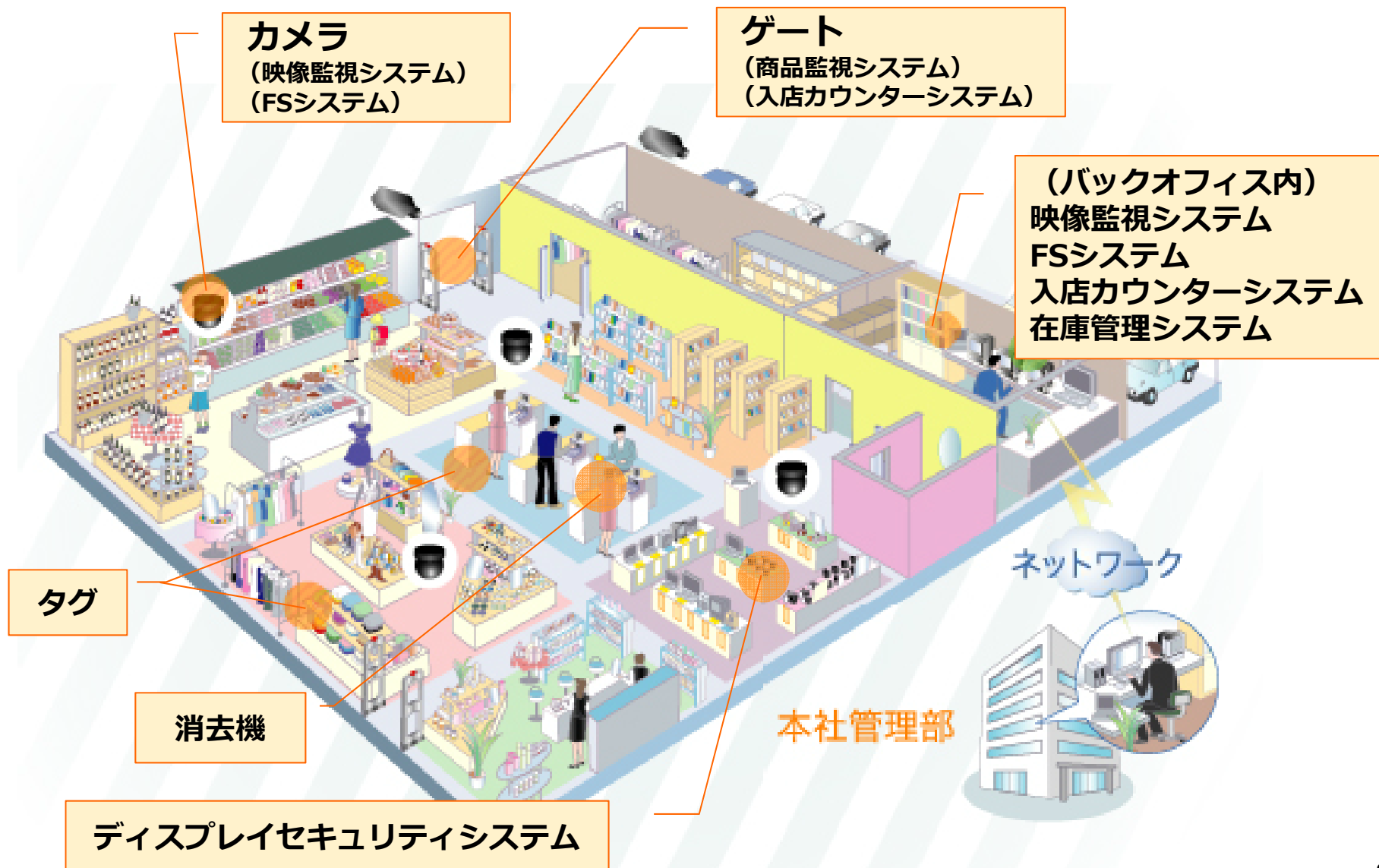
プロダクト別計画(営業利益)



トピックス

独自の付加価値の創造と
グローバルビジネスの本格展開の状況

① セキュリティプロダクト 小売店向け複合提案



② Takachiho America, Inc. 設立

事業開始: 2015年7月

設立目的: 米国市場の産機プロダクトの
展開を加速させる

⇒ 商品・エリア拡大予定

※前身

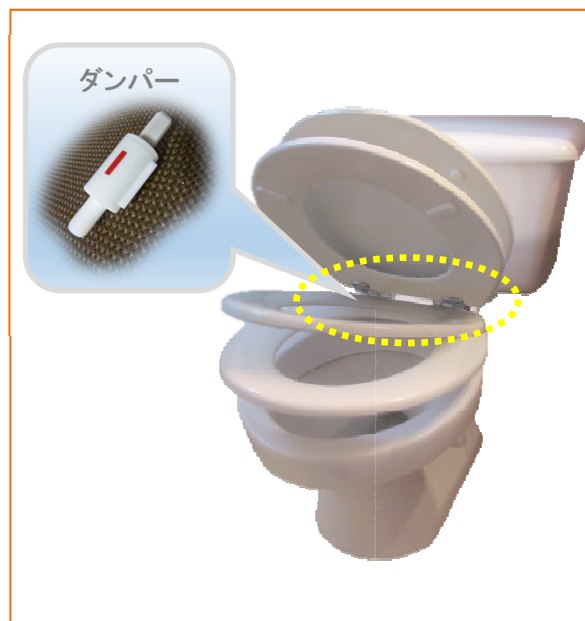
「米国駐在員事務所」

設立: 1963年 ニューヨーク

業務内容

- ・米国市場動向調査
- ・新商品開発活動

【採用例】



中期事業方針

基本方針

独自の付加価値創出とグローバルビジネスの拡大

- ① 既存事業の収益拡大
- ② グローバルビジネスの拡大
- ③ 新規ビジネスの創出

ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。